

ACCELERATOR CONTROL, FUEL & EXHAUST SYSTEMS

FE アクセルコントロール、 フューエル & エキゾースト

〔点検・脱着〕

目次

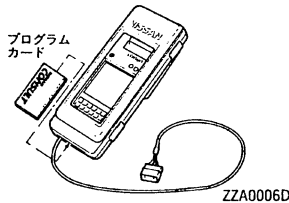
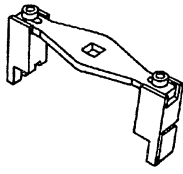
準備品	FEe- 2
特殊工具	FEe- 2
油脂及びその他	FEe- 2
アクセルコントロールシステム	FEe- 3
フューエルタンク	FEe- 5
フューエルポンプ、フューエルゲージ	FEe-11
エキゾーストシステム	FEe-14
デュアルモードマフラー	FEe-16

FE

@gabednconfused
@gabednconfused
@gabednconfused

準備品

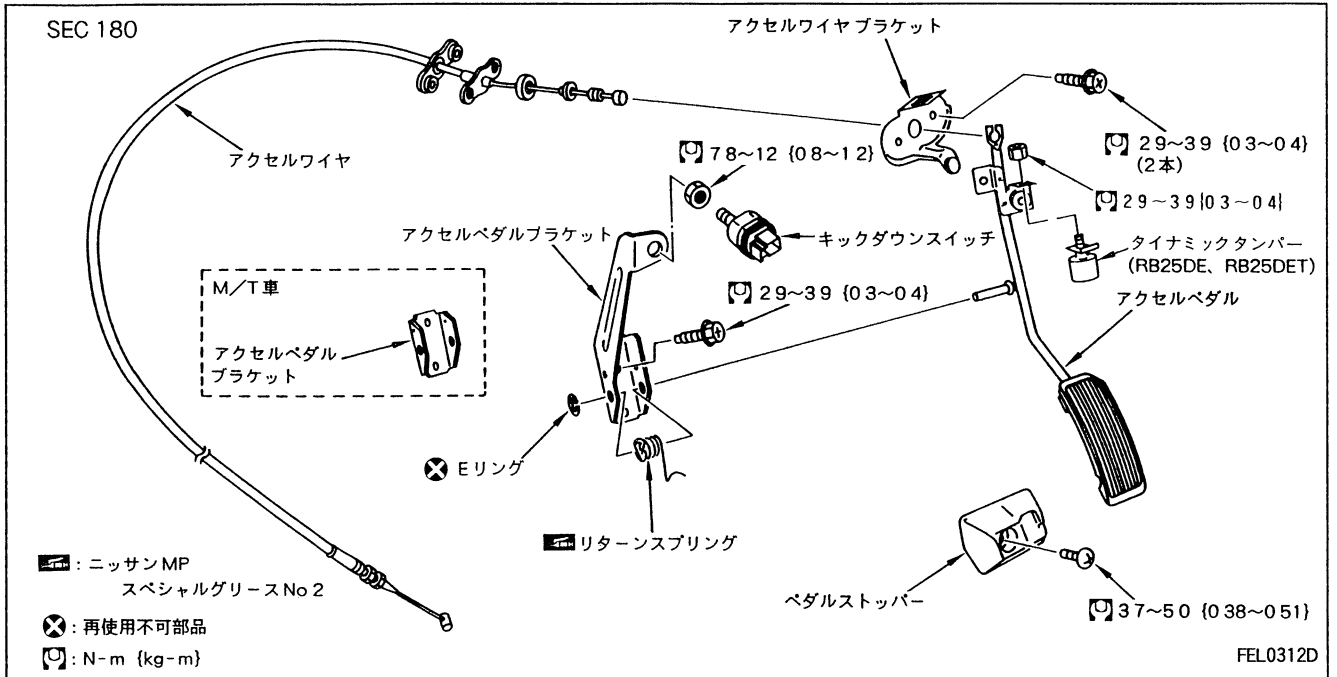
特殊工具

名 称	用 途	備 考
電子システム診断テスター CONSULT(コンサルト) EG1180 0000 <div style="text-align: center;">  <p>プログラム カード</p> <p>ZZA0006D</p> </div>	燃圧除去	既 設
ロックリングレンチ KV991 04700 <div style="text-align: center;">  <p>ZZA0122D</p> </div>	フューエルタンクセンサー ユニットロックリング脱着	

油脂及びその他

名 称	用 途
ニッサンMPスペシャルグリースNo.2	アクセルペダルリターン springs 潤滑

アクセルコントロールシステム



取り外し

1. アクセルワイヤをスロットルドラム側で外す。
2. アクセルワイヤをアクセルペダル側で外す。
3. アクセルペダルブラケット取付ボルトを取り外し、アクセルペダル・ブラケットASSYを取り外す。

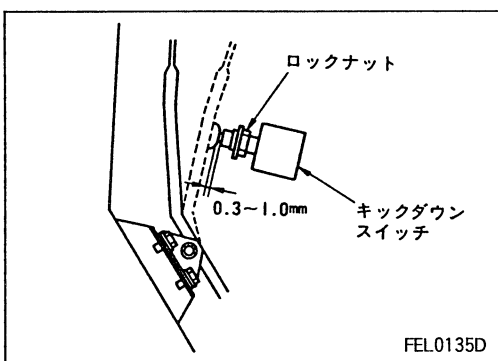
取り付け

取り付けは、下記に注意し取り外しと逆の手順で行う。

- リターンズプリングにニッサンMPスペシャルグリースNo.2を塗布する。
- Eリングは新品と交換する。
- キックダウンスイッチを取り外した場合は、取付位置の調整を行う。(A/T車)
- アクセルペダルを踏み込み、スロットルドラムが全開の状態ですき間が0.3~1.0mmになるように調整し、ロックナットを締め付ける。

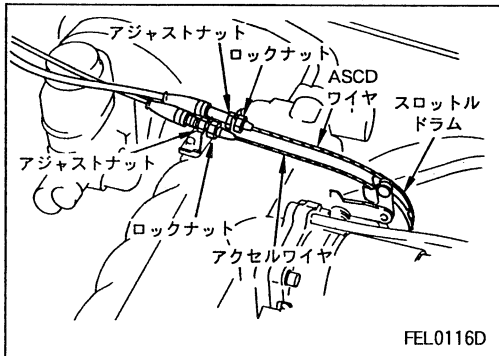
キックダウンスイッチロックナット締め付トルク (N-m {kg-m})
: 7.8 ~ 12 {0.8 ~ 1.2}

- 注意 :
- スイッチを全開ストッパーにしないこと。
 - ワイヤの芯部に傷、曲げくせなどをつけないようにする。
 - 分解、組み立て時には、各部への給油を確実に行うこと。ただし、ワイヤ内部は無油脂である。
 - アクセルペダル作動域において、他部品との干渉による戻り不良がないことを確認する。



点検

- アクセルペダルをいっぱい踏んだときに、スロットルドラム側が全開となること。
- 滑らかに作動すること。



調整

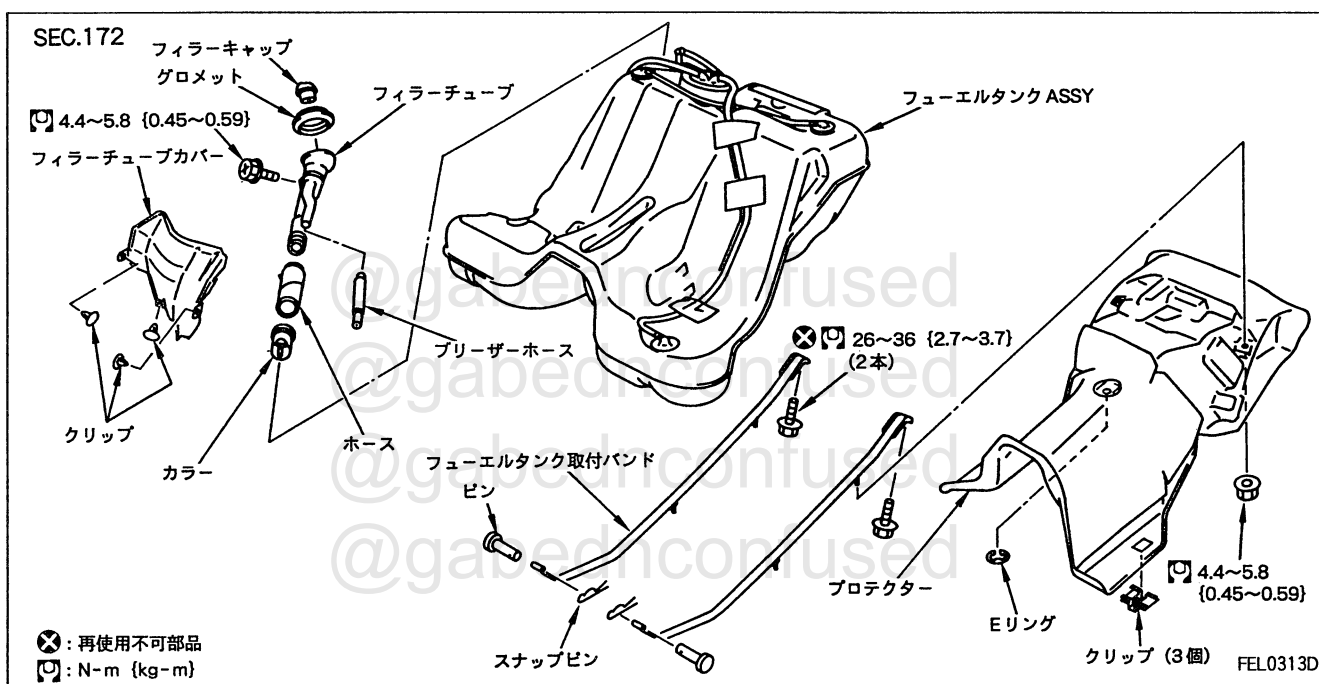
- アクセルワイヤに十分たるみを与えた状態からアジャストナットにより、アウターケースをアクセルペダル方向に引っ張り、スロットルドラムが動き始めた位置（このとき遊びは0）から1.5～2.0回転アジャストナットを戻し、ロックナットを締め付ける。
ロックナット締め付トルク (N-m [kg-m]) : 7.8 ~ 11 {0.8 ~ 1.1}
- ASCDワイヤの調整は、「ASCD編アクチュエーターASSY」の項参照。

@gabednconfused
@gabednconfused
@gabednconfused
@gabednconfused

フューエルタンク

注意

- フューエルチューブが樹脂クリップで車体側へ確実に取り付けられており、燃料漏れ、チューブの損傷、さびなどのないよう十分に点検、整備を行い、不具合のある部品については、すみやかに交換すること。
- エバポ系のチューブは、つぶれないよう取り付けられているかを取り付け後確認すること。
- クリップの割れ、外れなどのないよう点検、整備を行い、不具合部品は交換すること。
- フューエルホースの挿入代は、フューエルチューブストッパーがある場合は、ストッパーに当たるまで挿入し、ストッパーのない場合はチューブ先端から約22~28mm挿入すること。



取り外し

1. トランクリッドを開ける。
2. トランクルームフロントフィニッシャーを取り外す。
(「BI編トランクトリム」の項参照)

3. 燃圧を除去する。



- エンジンを始動させる。
- 作業サポートで“燃圧除去”を選ぶ。
- “開始”をタッチし、エンスト後2~3回クランキングする。
- 始動不良車の場合は、3~4回クランキングする。

◆燃圧除去◆

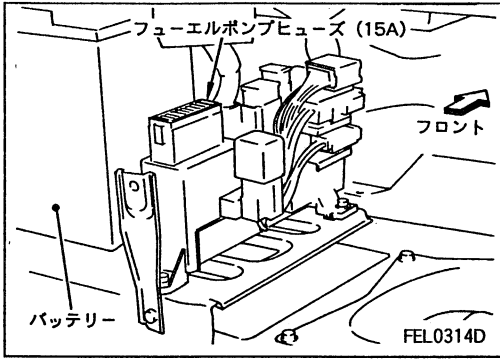
アイドル回転時、「開始」を
押して燃料ポンプを停止
させる。
エンスト後、2~3回ク
ランキングすること。

開始

FEA0001D

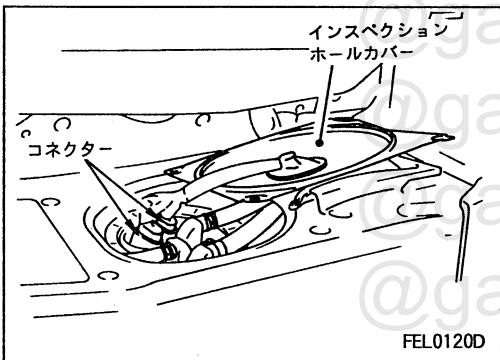
フューエルタンク

取り外し (続き)



- エンジン始動後、フューエルポンプヒューズを外し、エンジンを回すまで回す。さらに2~3回ランキングし、配管中の燃料を消費する。

- バッテリーマイナス端子を取り外す。
- フューエルフィルターリッドを開ける。



- インスペクションホールカバーを開け、フューエルセンサーユニットからコネクターを外す。

- フューエルタンク内の燃料を給油口又はフューエルセンサーユニットを取り外して抜き取る。

- フューエルセンサーユニットの取り外しは、「フューエルポンプ、フューエルゲージ」の項参照。

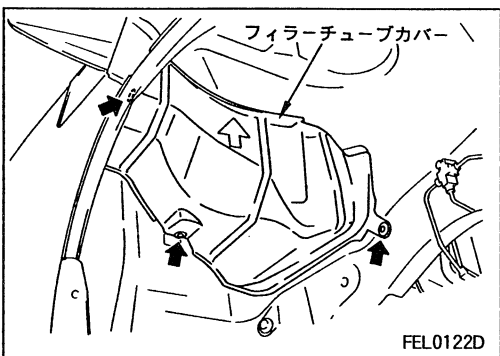
注意：換気の良い火気のない場所で消火器をそばに置いて行うこと。

- リヤサスペンションメンバーASSYを取り外す。

(「RA編リヤサスペンションASSY」の項参照)

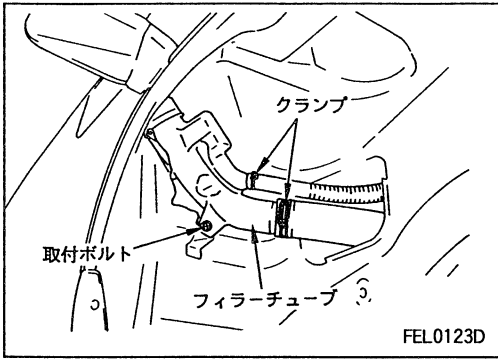
- パーキングブレーキワイヤ、ディファレンシャルブリーザーホース、ABSセンサーハーネス (ABS装着車) を取り外す。

- フィルターチューブカバーを取り外す。



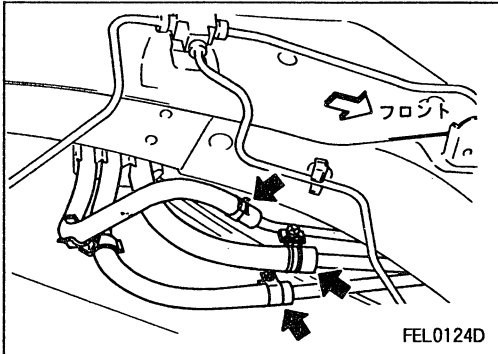
フューエルタンク

取り外し (続き)



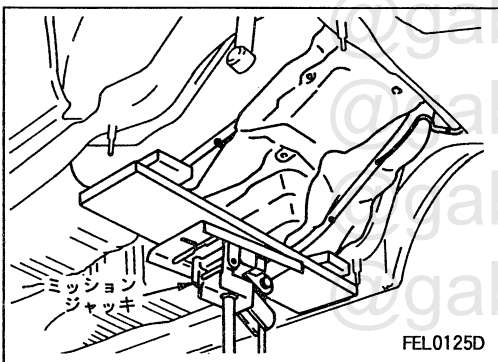
11. フィラーチューブを取り外す。

- クランプ2箇所を緩めてホースを外し、取付ボルトを外してフィルターチューブを給油口側グロメットから引き抜く。



12. フューエルタンク右側のフューエルホースを外す。

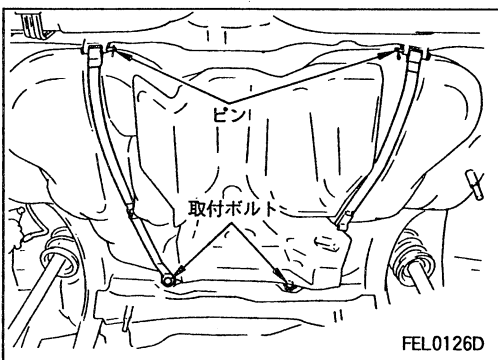
- 取り付け時に誤接続しないよう合いマークをつける。



13. ミッションジャッキでフューエルタンク底部を支える。

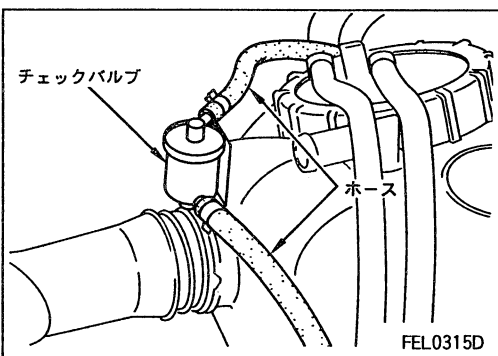
- 当て板等を使用し、確実にタンク底部を支えること。

参考 : フューエルタンクプロテクターを取り外す必要がある場合はミッションジャッキで支える前に取り外す。



14. フューエルタンク取付バンドのフロント側ピン2箇所、リヤ側取付ボルト2本を取り外す。

15. フューエルタンクを支えながら慎重にミッションジャッキを下げ、フューエルタンクを取り外す。



16. フューエルチェックバルブを取り外す。

- ホース (2本) を外し、ブラケットからクリップを外して取り外す。

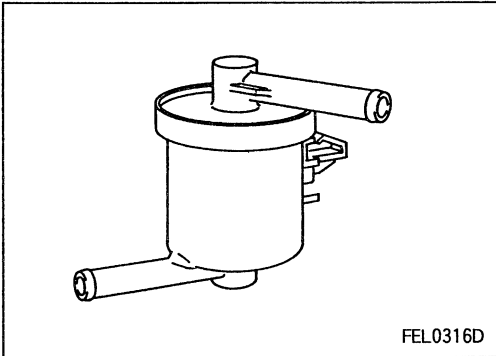
点検

フューエルタンク目視点検

- き裂、破損がないか点検する。
- 異常がある場合は新品と交換する。

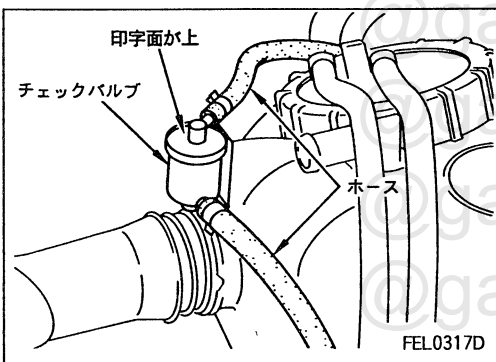
フューエルホース目視点検

- き裂、破損がないか点検する。
- 異常がある場合は新品と交換する。



フューエルチェックバルブ機能点検

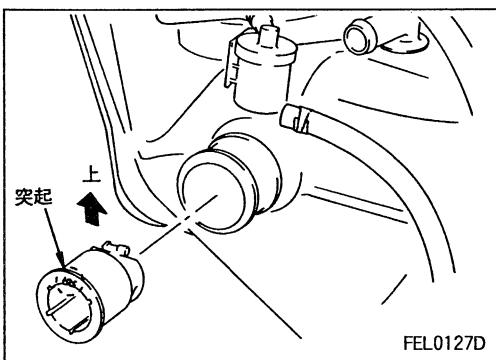
「MA編点検整備要領ばい煙、悪臭のあるガス、有害なガス等の発散防止装置」の項参照。



取り付け

1. フューエルチェックバルブを取り付ける。

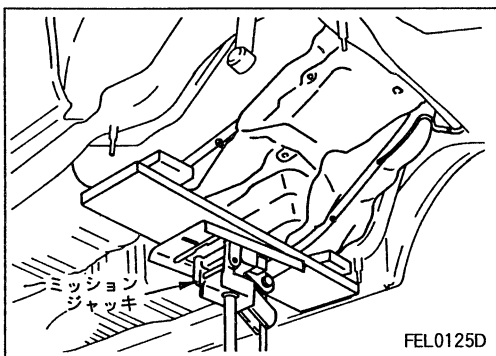
- 印字面が上になるよう取り付ける。
- ホースは突き当たるまで挿入し、クランプを確実に取り付ける。



2. フューエルタンク給油口のカラーは突起が上になるよう取り付ける。

3. 各フューエルホースを取り外したときと同じ状態になるよう取り付ける。

- ホースは確実に接続する。
- クランプはバルジ部分（段差部分）にかからないよう取り付け、確実に締め付ける。

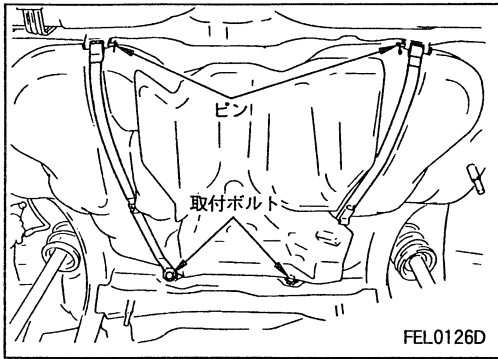


4. ミッションジャッキで底部を支え、フューエルタンクASSYを取り付け位置にセットする。

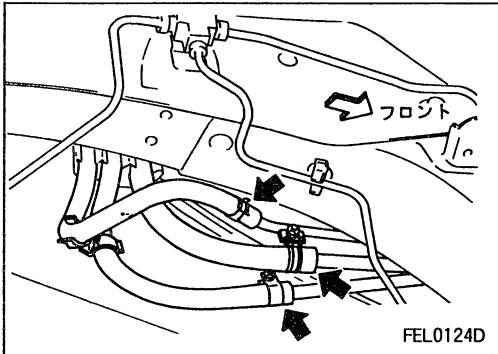
- フィラーホース、ベントホースが車体と干渉するのでボディの穴に入るまで手で折り曲げる。

フューエルタンク

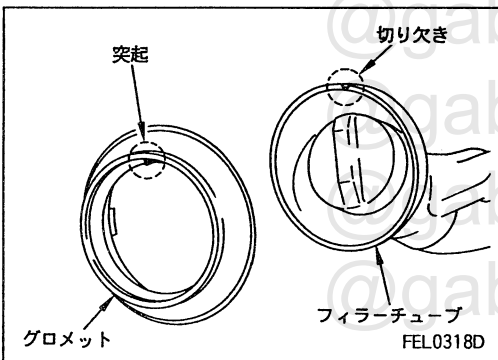
取り付け (続き)



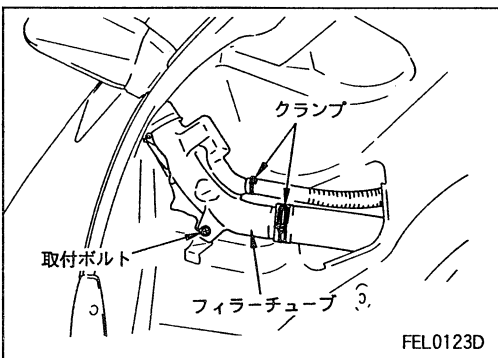
5. フューエルタンク取付バンドを取り付ける。
 - バンド裏面 (タンク側) に右側のみRのペイントがあるので識別して取り付ける。
 - フロント側のピンは外側から内側に向けて挿入し、抜け止めピンを確実に取り付ける。
 - リヤ側取付ボルトは新品と交換する。
締付トルク (N-m [kg-m]) : 26 ~ 36 [2.7 ~ 3.7]
6. フューエルタンクプロテクターを取り付ける。



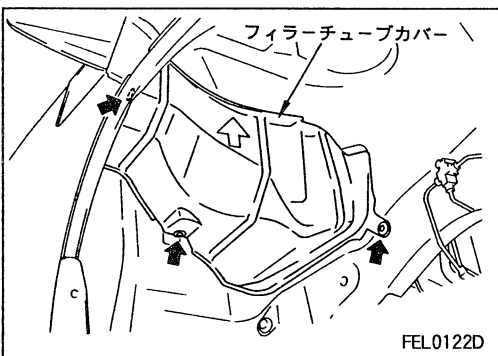
7. フューエルタンク右側のフューエルホースを接続する。
 - 取り外し時に付けた合いマークを参照して接続する。
 - クランプはバルジ部分 (段差部分) にかからないよう取り付け、確実に締め付ける。



8. フィラーチューブを取り付ける。
 - 給油口側のグローメットは突起をフィラーチューブの切り欠きに合わせて取り付ける。



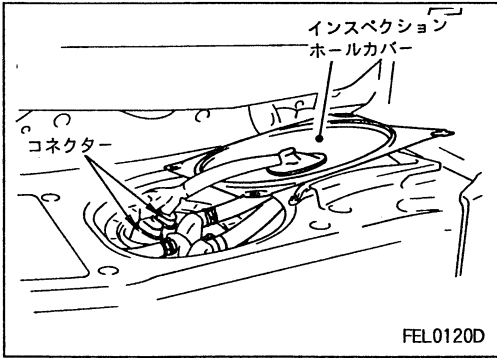
- ホースは確実に接続する。
- クランプはバルジ部分 (段差部分) にかからないよう取り付け、確実に締め付ける。



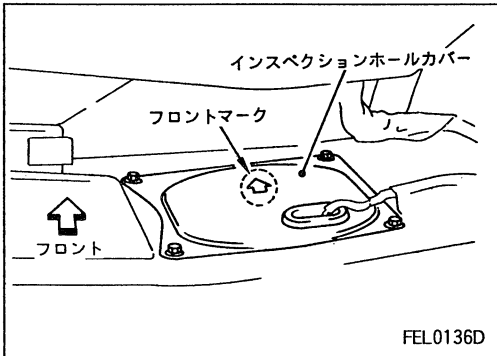
9. フィラーチューブカバーを取り付ける。
 - 矢印を上に向けて取り付ける。

フューエルタンク

取り付け (続き)



10. フューエルセンサーユニットにコネクターを接続する。



11. インスペクションホールカバーを取り付ける。

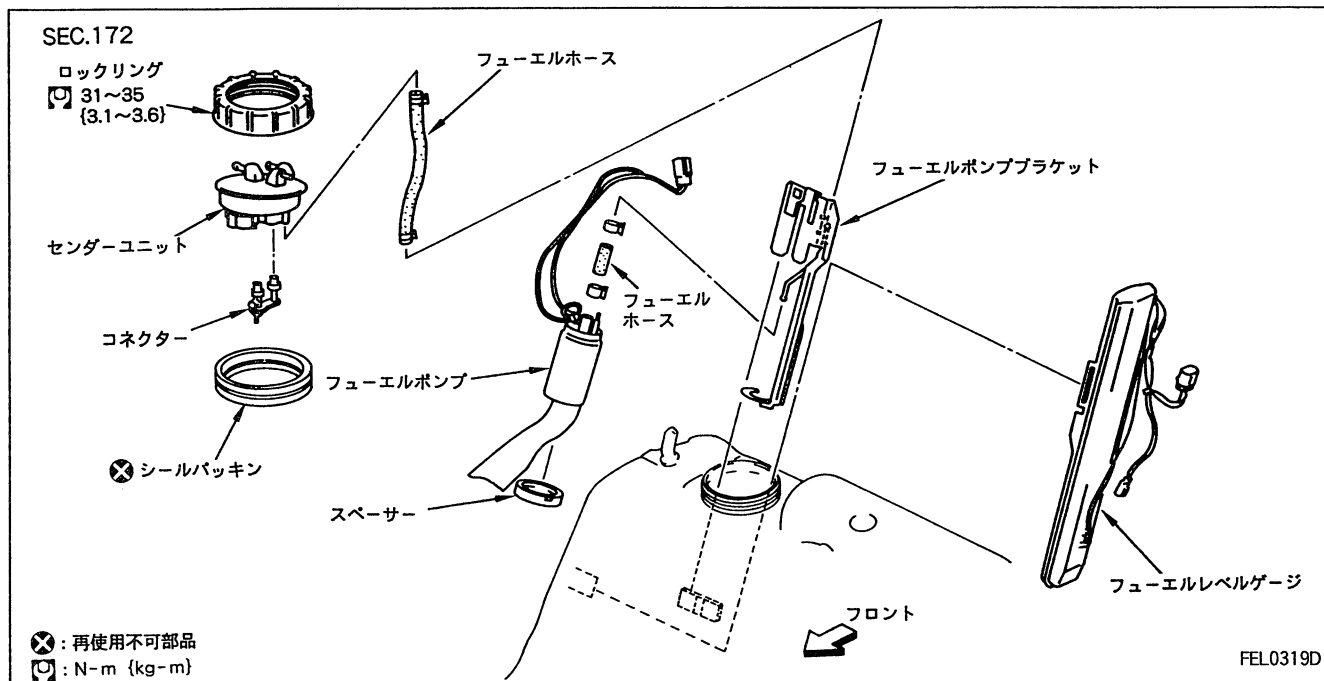
- 矢印がフロント側を向くように取り付ける。

12. 以下は取り外しと逆の手順で取り付ける。

点検

- 各クランプが確実に締め付けられているか確認する。
- キースイッチをONにし、燃料配管に燃圧をかけたとき、各接続部から燃料の漏れがないか確認する。

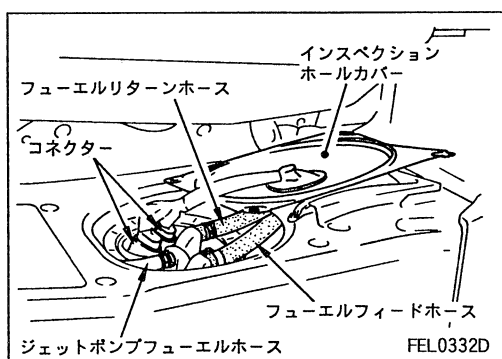
フューエルポンプ、フューエルゲージ



注意 : 脱着時の注意事項は、「フューエルタンク」の項参照。

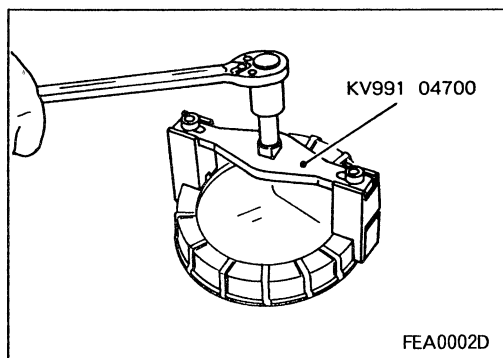
取り外し

1. トランクリッドを開ける。
2. トランクルームフロントフィニッシャーを取り外す。
(「BI編トランクトリム」の項参照)
3. 燃圧を除去する。
(「フューエルタンク」の項参照)
4. バッテリーマイナス端子を外す。
5. フューエルフィルターリッドを開ける。
6. フィラーキャップを開放しフューエルタンク内圧を抜く。
7. リヤスピーカアンプ、リヤスピーカアンプブラケットを取り外す。
(「BEL編オーディオ」の項参照)

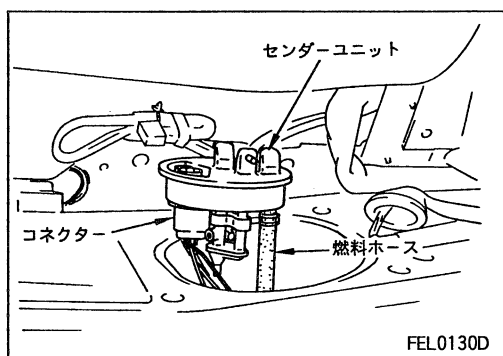


8. インспекションホールカバーを開け、フューエルセンサーユニットからコネクター及び燃料ホースを外す。
 - 取り付け時に誤接続しないよう合いマークをつける。

取り外し (続き)

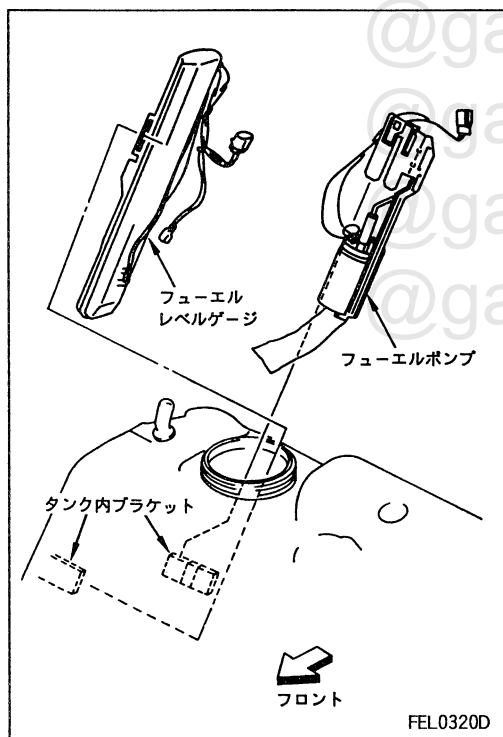


9. ロックリングレンチ (特殊工具) を用いてロックリングを取り外す。



10. フューエルセンサーユニットを持ち上げ、コネクター及び燃料ホースを外す。

11. フューエルタンク内の燃料を抜き取る。



12. フューエルポンプを取り外す。

- 上方向にフューエルポンプをスライドさせて取り外す。

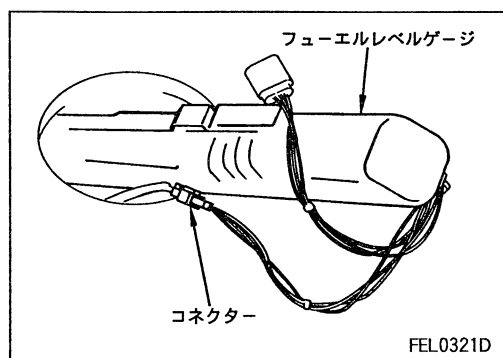
13. フューエルレベルゲージを取り外す。

- (1) 車両左方向にフューエルポンプをスライドさせてフューエルタンク開口部まで取り出す。

- (2) コネクターを外し、フューエルレベルゲージを取り外す。

点検

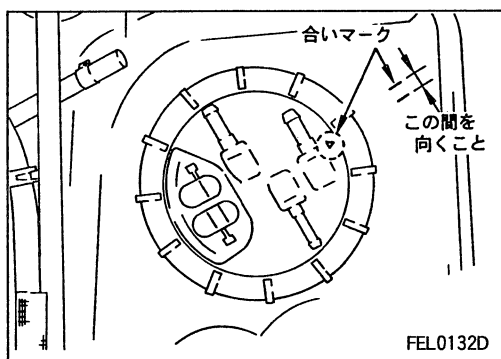
- フューエルポンプは、「故障診断版EF&EC編系統別の故障診断フューエルポンプ系統」の項参照。
- フューエルゲージは、「故障診断版BEL編メーター故障診断」の項参照。



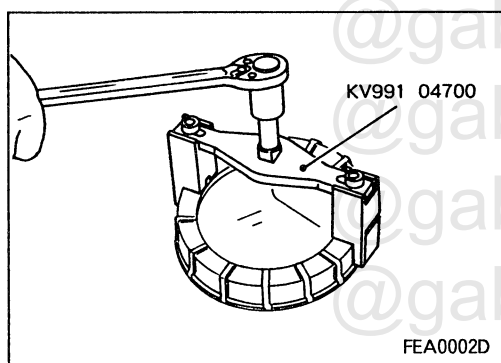
取り付け

取り付けは、下記に注意し取り外しの逆の手順で行う。

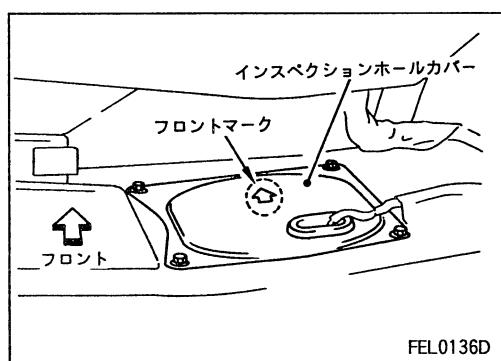
- 燃料ホース、コネクターは確実に接続する。
- フューエルポンプの配線は、極の誤接続をしないよう注意する。
- シールパッキンは新品と交換する。



- フューエルセンサーユニットの合いマークがフューエルタンク側の2本の合いマークの間になるよう取り付ける。



- ロックリングレンチ (特殊工具) を用いてロックリングを締め付ける。
締め付トルク (N-m [kg-m]) : 30 ~ 35 [3.1 ~ 3.6]

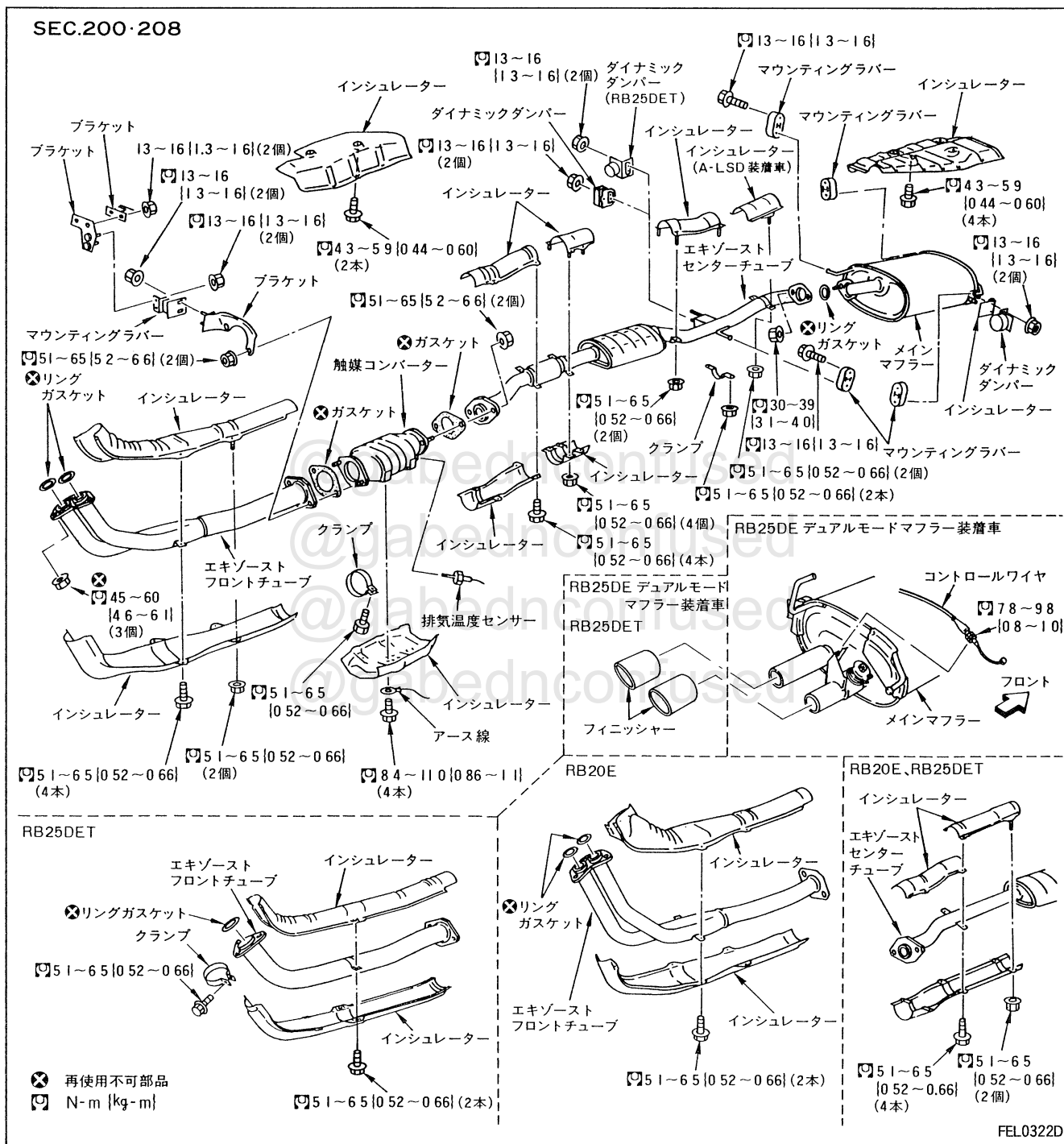


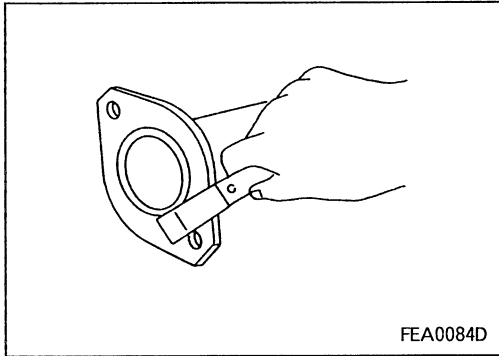
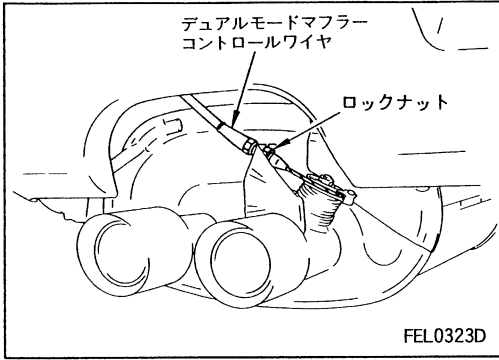
- インスペクションカバーは矢印が、フロント側を向くよう取り付け。

エキゾーストシステム

注意

- 排気系部品は材料的に耐熱、耐腐食性、また、形状的にも十分配慮してあるので、必ず純正部品を使用すること。
- エンジン停止直後はエキゾーストシステムが熱くなっているため作業は十分冷えた状態で行うこと。





取り外し

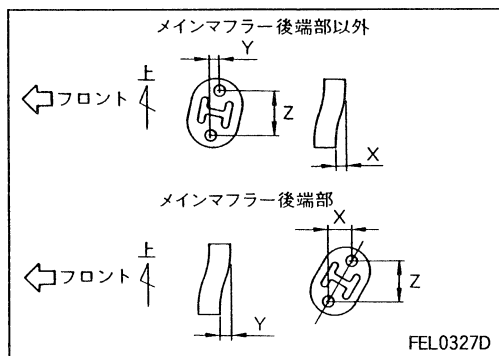
- 各接続部で分割し、取り外す。
- デュアルモードマフラー装着車のメインマフラーは以下の手順で取り外す。(RB25DEデュアルモードマフラー装着車)
 - リヤチューブと分割する前にメインマフラーリヤ側のマウンティングラバーを外して後端を下げる。
 - デュアルモードマフラーコントロールワイヤをメインマフラーから外す。
 - メインマフラーを取り外す。

取り付け

- 遮熱板に著しい変形があるものは、修正又は交換する。また泥などの著しい積があるものは、これを取り除く。
- 遮熱板は各排気管との間に著しいすき間や干渉がないよう取り付けれる。
- 各接続部のシール面は、ガスケット等の付着物をきれいに除去し、その後、ガス漏れのないよう確実に接続すること。
- 各ガスケットは、全て新品と交換する。
- フロントチューブ取付ナットは新品と交換する。
- 排気管ASSYの取り付けは、エキゾーストマニホールド側取付ナット及び車体側取付ボルトの仮締めを行い、各部に異常なつっぱりなどがないことを確認し、規定のトルクで締め付けること。
- 各クランプは、インシュレーター側の突起とクランプ側の穴を合わせて取り付ける。
- フィニッシャーは位置決めストッパーに当たるまで挿入し、ガタがないことを確認する。(RB25DEデュアルモードマフラー装着車、RB25DET)
- デュアルモードマフラーコントロールワイヤを取り付ける。(RB25DEデュアルモードマフラー、装着車)

ロックナット締め付トルク (N-m {kg-m})

: 7.8 ~ 9.8 {0.8 ~ 1.0}
- デュアルモードマフラーコントロールワイヤの調整はアクチュエーター側で行う。([デュアルモードマフラー]の項参照)
- 各マウントラバーはこじれ、上下左右の引っ張りに注意して取り付ける。

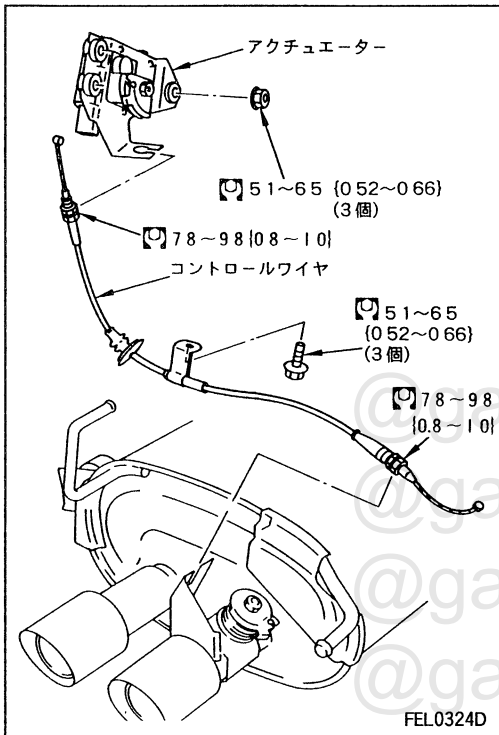


- 各マウントラバー取付状態のオフセットが以下になるよう取り付ける。

部 位	X	Y	Z
メインマフラー	-5 ~ 5	0 ~ 10	38 ~ 48
センターマフラー前部	-5 ~ 5	0 ~ 10	38 ~ 48
センターマフラー後部	右側	-5 ~ 5	17 ~ 27
	左側	-5 ~ 5	17 ~ 27

点検

- エンジンを始動し、各接続部から、ガス漏れがないか点検する。
- 腐食による排気ガスの漏れがないか点検する。
- 腐食による排気ガスの漏れがある場合は新品と交換する。

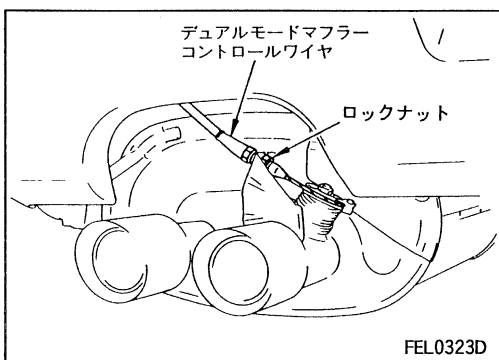


デュアルモードマフラー

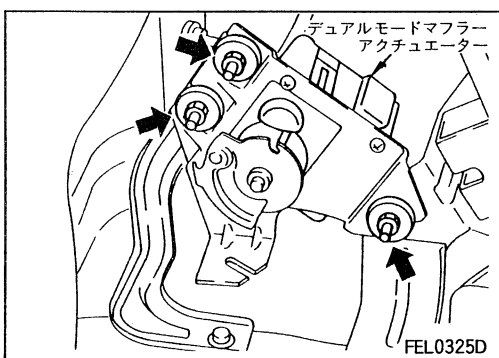
RB25DE、装着車

取り外し

1. バッテリーマイナス端子を外す。
 - (1) トランクリッドを開ける。
 - (2) トランクルームフロントフィニッシャーを外し、バッテリーマイナス端子を外す。
(「BI編トランクトリム」の項参照)



2. コントロールワイヤを取り外す。
 - アクチュエーター側を外した後、マフラー側を外す。
 - マフラー側はメインマフラーをマウンティングラバーから外し、後端を下げた状態でワイヤを取り外す。
 - サイドメンバー下面のクランプを取り外す。

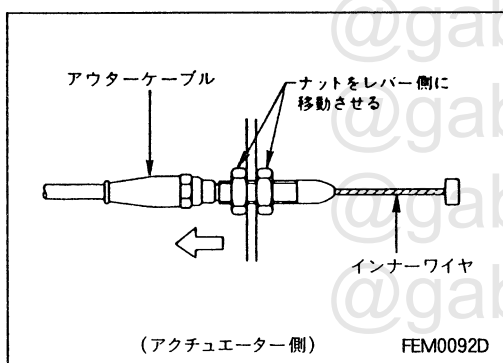


3. アクチュエーターを取り外す。
 - 取付ナット (3箇所) を外し、アクチュエーター裏側からハーネスコネクターを外してアクチュエーターを取り外す。

デュアルモードマフラー (続き)

取り付け

1. アクチュエーターを取り付ける。
 - アクチュエーター裏側にハーネスコネクタを接続する。
 - 取付ナット (3箇所) を締め付ける。
 - 締付トルク (N-m {kg-m}) : 5.1~6.5 {0.52 ~ 0.66}
2. メインマフラー側にコントロールワイヤを取り付ける。
 - 締付トルク (N-m {kg-m}) : 25 ~ 32 {2.6 ~ 3.3}
3. メインマフラーをマウントに取り付ける。
4. アクチュエーターにコントロールワイヤを仮付けする。
 - ワイヤに無理な力がかからないよう取り付け。
5. ワイヤの調整を行う。(「調整」の項参照)

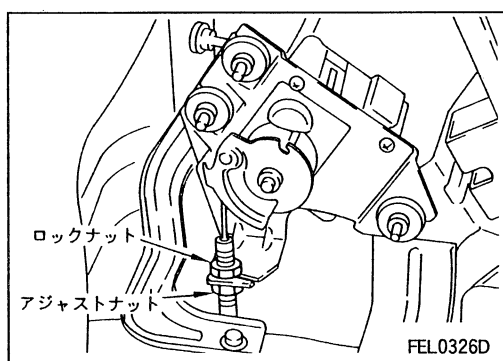


調整

- インナーワイヤにたるみがある場合は、アクチュエーター側ワイヤブラケットのロックナットを緩めアウターケーブルを、矢印方向に移動する。
- アウターケーブルをアクチュエーターレバー側に出しすぎると、作動したとき、ワイヤドラムに干渉するので注意すること。
- アクチュエーター側はブラケットがアウターケーブルネジ部の中央になるよう取り付け。
- インナーワイヤが張りすぎのときは、ナットの位置を上記と逆方向に移動し、調整する。

注意： ワイヤを張りすぎると、バルブが半開きとなる。

- インナーワイヤの調整。(参考)
バルブレバーとテールチューブのワイヤブラケット間のインナーワイヤを人差し指で押したとき、ワイヤのたるみが約2mm位になるよう調整する。
- 調整後、アクチュエーター側ロックナットを締め付ける。
 - 締付トルク (N-m {kg-m}) : 7.8 ~ 9.8 {0.8 ~ 1.0}



点検

- キースイッチONでバルブが半開き状態でないか、アイドル時、テールチューブ右側から排気ガスの漏れがないか点検する。
- 約4100rpm以上でバルブが全開になるか点検する。
(「故障診断版EF&EC編系統別の故障診断デュアルモードマフラー制御」の項参照)

MEMO

@gabednconfused
@gabednconfused
@gabednconfused
@gabednconfused